

取扱説明書

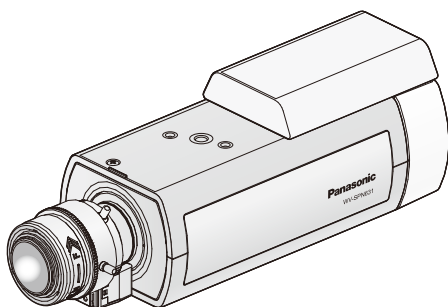
工事説明付き

機能拡張ユニット

品番 WV-SPN6R481

もくじ

安全上のご注意	2
取り付けかた	4
仕様	12
保証とアフターサービス	13



はじめに

工事

その他

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～3ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

商品概要	付属品をご確認ください
WV-SPN6シリーズ用RS485出力ユニットです。 以下、本文中ではRS485出力ユニットと表記します。	取扱説明書（本書）..... 1式 ねじA（M2.5x8 mm）..... 3本 （うち1本は予備ねじ） ケーブルカバー 1個 保証書 1式

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

配線は電源を切ってから行う



感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります。

配線は正しく行う

ショートや誤配線により、火災や感電の原因となります。

ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける

落下によるけがや事故の原因となります。

異物を入れない

禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- 直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

分解しない、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因となります。

- 修理や点検は、販売店に連絡してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物破壊の原因となります。

- 放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

雷が鳴りだしたら、本機や電源ケーブル、接続したケーブルに触れない(工事時を含む)

接触禁止

感電の原因となります。

 注意**お手入れのときは電源を切る**

けがの原因となります。

取り付けかた

以下の取り付け説明はWV-SPN631を代表例として説明します。
取り付けの際は各カメラの取扱説明書をあわせてお読みください。

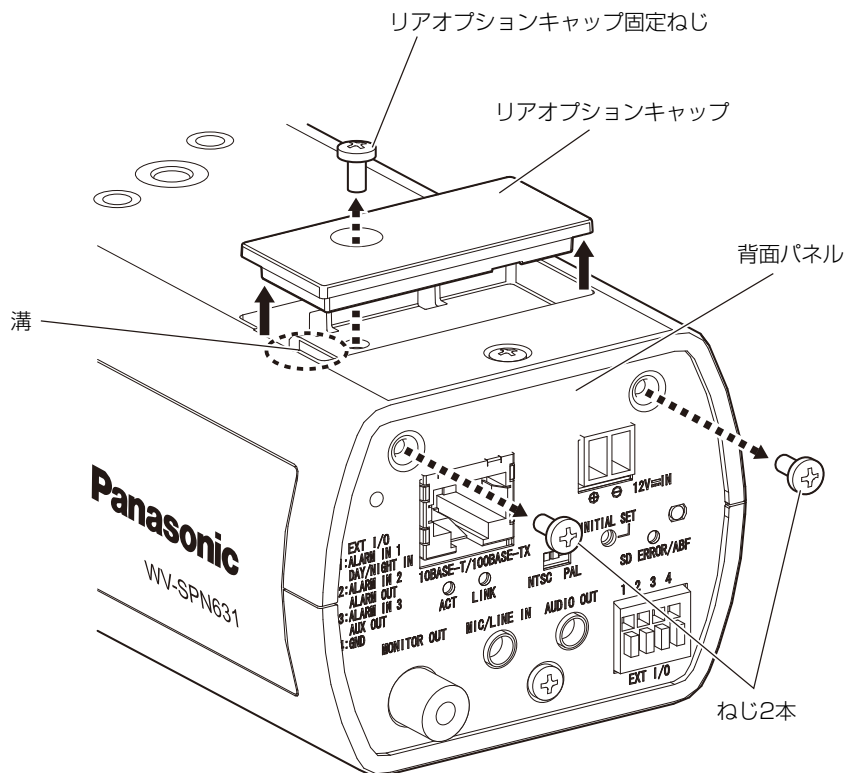
Step1

カメラ上部のリアオプションキャップ固定ねじ、リアオプションキャップと背面上方のねじ2本を取り外す

- ①カメラ上部のリアオプションキャップ固定ねじ（バインド小ねじ: M2.5×5 mm）を取り外します。
- ②カメラ本体上面、後方より見て左側の溝に、小さなマイナスドライバーの先などを入れ、リアオプションキャップを取り外します。
- ③背面パネル上方のねじ2本（バインド小ねじ: M2.5×5 mm）を外します。

メモ

- 取り外したねじ（バインド小ねじ: M2.5×5 mm）とリアオプションキャップは使用しませんので、RS485出力ユニットを取り外したときのために保管してください。



Step2

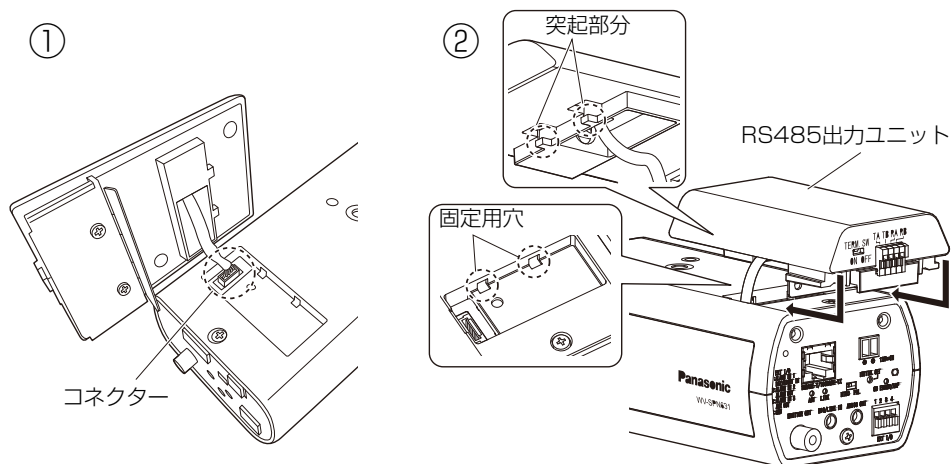
RS485出力ユニットをカメラ本体と接続し仮固定する

- ①RS485出力ユニットからのコネクター(オス)をカメラ本体のリアオプション接続用コネクター(メス)に接続します。

メモ

- コネクターが確実に挿入できていることを確認してください。

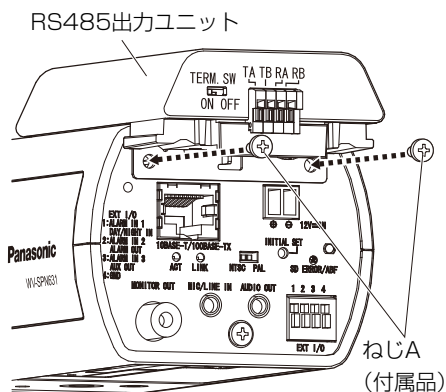
- ②RS485出力ユニットを右下図の様にカメラ本体に取付後前方へスライドさせ、RS485出力ユニットの2つの突起部分を、カメラ本体側にある2つの固定用穴に差し入れ仮固定します。



Step3

RS485出力ユニットを固定する

- ①RS485出力ユニットをカメラ後方より、ねじA(付属品)2本を使って取り付けます。
(推奨締付トルク: $0.39 \text{ N} \cdot \text{m}$
{ $4 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ })
- ②RS485出力ユニット装着完了後、カメラケーブル類を仮接続します。
詳細接続方法および配線処理方法はカメラおよびカメラハウジングユニットの取扱説明書を参照してください。



Step4

RS485出力ユニットにケーブルを接続する

RS485端子にツイストペアケーブル

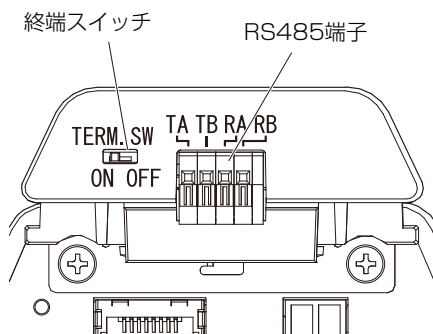
(別途調達)を接続します。

接続時は、外皮を9 mm～10 mm切断し、ショートなどがないように、芯線をよくよじってから接続してください。

線材仕様：AWG22～AWG28

単線またはより線

※ 外皮を切断した芯線がRS485端子から露出せず、確実に接続されていることを確認してください。

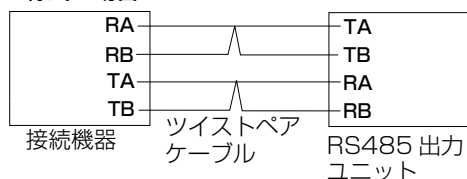


<RS485出力ユニットと接続機器を1対1で接続して使用する場合>

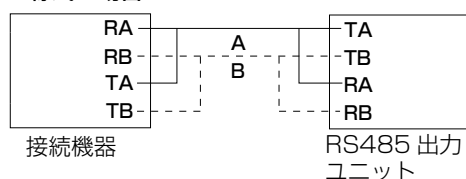
終端スイッチは[ON]で使用してください。

(終端スイッチは工場出荷時に[ON]になっています。)

4線式の場合



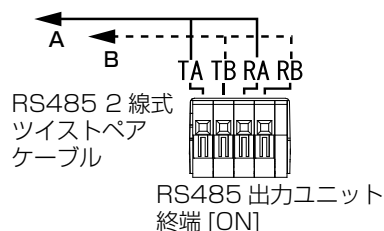
2線式の場合



<RS485出力ユニットと接続機器を複数デジチェーン接続して使用する場合>

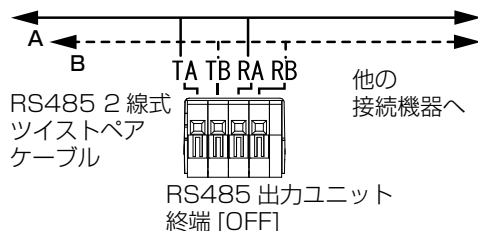
本機をデジチェーン接続の

終端で使用する場合



本機をデジチェーン接続の

途中に接続する場合



重要

- 本機のRS485端子は4線式です。2線式の機器を接続する場合には、外部で上図のように接続してください。
- 2線式で接続する場合には、設定メニューで「2線式」を選択してください。設定メニューについては次のStep5で設定します。
- ツイストペアケーブルに無理な力が加わらないように接続してください。
- ツイストペアケーブルを長く引き伸ばしてご使用の場合はAWG22～AWG24の太いケーブルを使用してください。

Step5

カメラとPCをネットワークに仮接続して、カメラの表示用プラグインソフトウェアをPCにインストール後にカメラの設定メニューより、RS485通信の設定を行う

カメラとPCをハブなどを使って同じネットワーク環境に接続するか、クロスケーブルを使って直接接続してください。全てのシステムを仮接続して、カメラに電源を入れRS485の設定を実施します。

①カメラ付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットします。

- 使用許諾契約が表示されますので、使用許諾契約をお読みのうえ、「使用許諾契約書の条項に同意します。」を選択し、[OK] をクリックします。
- CDランチャーメニューが表示されます。CDランチャーメニューが表示されないときは、カメラ付属CD-ROM内の「CDLauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてください。



メモ

- CDランチャーの詳細については、カメラ付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編：「CD-ROMを使用する」を参照してください。
- カメラ接続に必要なPCの能力については、カメラ本体の取扱説明書「必要なPCの環境」を参照してください。

②IP 簡単設定ソフトウェアの [起動] をクリックします。

[Panasonic IP簡単設定ソフトウェア] 画面が表示され、カメラが見つかったカメラのMACアドレスやIPアドレスなどの情報を表示します。

※表示されるカメラの情報は自動更新されません。[検索]ボタンをクリックして情報を更新してください。

③設定するカメラをクリック④して、[カメラ画面を開く] をクリック⑤します。

メモ

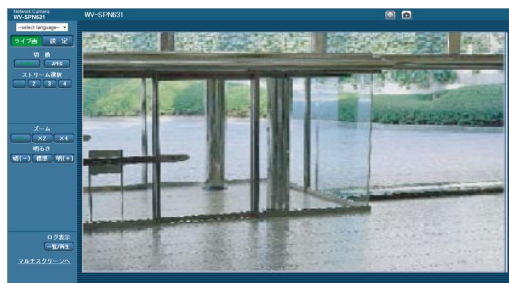
- 複数台のカメラが [Panasonic IP簡単設定ソフトウェア] 画面に表示された場合は、設定したいカメラに貼られているラベルに記載のMACアドレスと同じカメラをクリックしてください。



- ④表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」のインストール画面が表示されたら、画面の指示にしたがって、インストールします。
(カメラから表示用プラグインソフトウェアがインストールされます。)

●カメラのライブ画面が表示されます。

●表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」をインストールできない場合や画像が表示されない場合は、CDランチャーメニューにある表示用プラグインソフトウェアの「インストール」ボタンをクリックして、インストールしてください。画像が表示されない場合は、取扱説明書 操作・設定編(カメラ付属CD-ROM内)の「故障かな!」を参照してください。

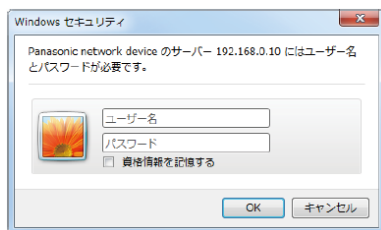


●画像が表示されない場合は、ウェブブラウザを互換表示に設定してください。設定方法については、以下のパナソニックサポートウェブサイトを参照してください。

<http://panasonic.biz/security/support/info.html>

- ⑤ライブ画面の[設定]ボタンをクリックすると認証ダイアログが表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

初期設定はユーザー名[admin]とパスワード[12345]です。



- ⑥カメラの設定基本画面が表示され、画面の左側、設定メニューの列に[機能拡張ユニット]ボタンが表示されます。

[機能拡張ユニット] ボタン



Step6

RS485の設定を行い、動作確認をする。

- ①設定メニューから「機能拡張ユニット」ページの「後側オプション」タブを選択します。

設定項目	設定内容と初期設定
自動検出	オプションを自動検出するかどうかを On / Off で設定します。 初期設定：On
拡張機能	使用する機能拡張ユニットを選択します。「自動検出」が Off のときのみ選択できます。

- [自動検出]がOnの場合、RS485出力ユニットを装着しカメラの電源を入れると、RS485出力ユニットは自動的に認識されます。

※RS485出力ユニットがうまく認識されない場合は「Off」が表示されます。

RS485出力ユニット～カメラ間の接続コネクタが確実に挿入されていることを再確認し、カメラの電源を再投入してください。

- ②RS485通信に関する以下の設定を行い、「設定」ボタンを押します。
(下記設定画面と次ページの「RS485設定項目一覧表」を参照し、カメラとRS485通信する機器の設定に合わせて設定を行なってください。)

- ③動作確認のために、例のようなURLを用いてRS485コマンドを入力し、接続機器が動作することを確認してください。

入力例：カメラのIPアドレスを、http://192.168.0.10/に設定し、回転台を接続した場合

http://192.168.0.10/cgi-bin/directctrl?pan=8&rs485=on

でPAN動作が確認できます。

RS485 設定項目一覧表

設定項目	設定内容と初期設定
RS485 通信	RS485 通信を使ってカメラを通して接続機器を制御するかどうかを On / Off で設定します。 初期設定：On
通信方式	RS485 のケーブルの通信方式を 4 線式 / 2 線式で設定します。 初期設定：4 線式
通信速度	RS485 の通信速度を以下から選択します。 2400 bps / 4800 bps / 9600 bps / 19200 bps / 38400 bps 初期設定：19200 bps
データビット	データビットを 7 bit / 8 bit で設定します。 初期設定：8 bit
パリティチェック	パリティチェックを行うかどうかを下記から選択します。 None / Odd / Even 初期設定：None
プロトコル	RS485 制御コマンドを下記から選択します。 Pelco-D / Pelco-P / Custom 初期設定：Pelco-D
ユニットアドレス	数珠つなぎされたRS485ライン上で、特定の接続機器にコマンドを送るために、各接続機器にアドレスを割り振ります。ほかの接続機器とアドレスが重複しないようにしてください。 ユニットアドレスの設定範囲はご使用のプロトコルによって異なります。使用可能な文字列は [0-9,a-z,A-Z] です。 初期設定：01

Step7

カメラを設置・接続し、ケーブルカバーを取り付け、調整する

①カメラ背面下側のねじ（バインド小ねじ: M2.5×5 mm）を外します。

メモ

- 取り外したねじは使用しませんので、RS485出力ユニットを取り外したときのために保管してください。

②カメラを天井もしくは壁面にカメラ取付台を使って固定し、ケーブル類を接続します。設置・接続方法の詳細は、カメラ本体の取扱説明書 基本編もしくは設置編を参照してください。

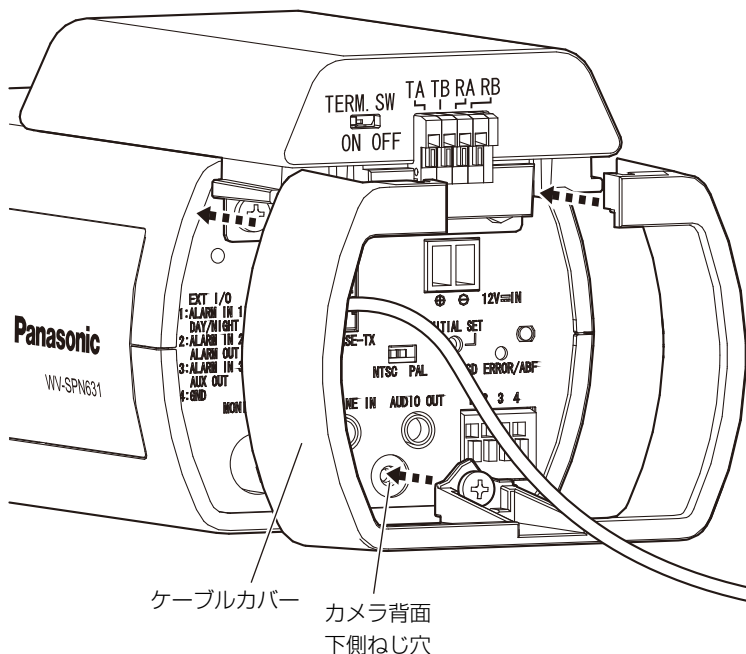
③カメラ後方よりケーブルカバーをねじで固定します。

(推奨締付トルク: 0.39 N・m {4 kgf・cm})

- ケーブルカバーでケーブル類をはさみ込まないように注意してください。

④カメラの向き、画角、フォーカスを調整します。

調整方法は、レンズの取扱説明書やカメラ本体の取扱説明書 設置編を参照してください。



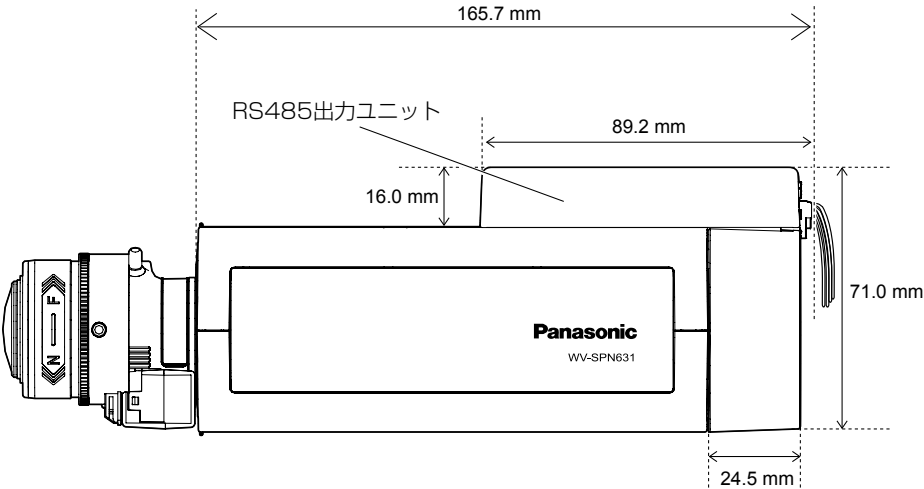
仕様

使用温度範囲	− 10 ℃ ～ + 50 ℃
使用湿度範囲	10 % ～ 90 %（結露しないこと）
シリアルポート	RS485準拠（外部機器制御用）
カメラ制御プロトコル	Pelco-D / Pelco-P / Custom
寸法	幅 71.0 mm 高さ 71.0 mm 奥行き 89.2 mm
質量	約60 g
仕上げ	本体（樹脂部）：PC/ABS樹脂、セイルホワイト色 本体（金属部）：冷間圧延鋼板、黒クロメート

重要

- 本機をWV-SPN6シリーズのカメラに装着する場合、下図のように外形寸法が大きくなります。カメラハウジングに入れて設置される場合は、余裕のあるカメラハウジングを選択してください。

■RS485出力ユニット取付後寸法



その他

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

ケーブル類の接続や配線を再度確認しても直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 機能拡張ユニット

●品 番 WV-SPN6R481

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用 ※補修用性能部品の保有期間 **7年**

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

その他

メモ

その他

メモ

その他

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。

また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ フ 受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)
※携帯電話・PHSからご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒 812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号